

# I 調查概要



## 1 調査目的

新基本構想素案等について、区民の意識や意向を統計的にとらえ、新基本構想および長期計画等を策定する基礎的資料として活用することを目的とする。

## 2 調査内容

### (1) 新基本構想素案について

- ① 「練馬区のめざす 10 年後の姿」について
- ② 「区政経営の基本姿勢」について
  - ・ 「区民主体、地域コミュニティ重視のまちづくり」について
  - ・ 「区民と区との協働のまちづくり」について
  - ・ 「持続可能な区政経営の実現」について
- ③ 「未来の練馬を区民とともにほぐくむ」視点について
  - ・ 「豊かなみどりを守り、増やし、活かす」視点について
  - ・ 「まちの魅力を引き出し、活力を高める」視点について
  - ・ 「未来を拓く人の学びや活動を支援する」視点について
- ④ 「分野別の基本政策」について
  - ・ 子ども分野の内容について
  - ・ 健康と福祉分野の内容について
  - ・ 区民生活と産業分野の内容について
  - ・ 環境とまちづくり分野の内容について
- ⑤ 「基本構想を実現するために」について
  - ・ 「長期計画の策定と進捗状況の区民への公表」について
  - ・ 「区民参加・参画と協働を進める仕組みづくり」について
  - ・ 「地域コミュニティの活性化」について
  - ・ 「基本構想を実現するための実施体制の整備」について

### (2) 長期計画素案について

- ① 「ねりま未来プロジェクト」について
  - ・ 「みどりプロジェクト」について
  - ・ 「農プロジェクト」について
  - ・ 「アニメプロジェクト」について
  - ・ 「人づくりプロジェクト」について
  - ・ 「地域コミュニティ活性化プロジェクト」について

### (3) 地域コミュニティ活動について

### (4) 住宅について

- ・ 現在の住宅の満足度
- ・ 区民のための住宅施策として、今後力を入れてほしいこと

### 3 調査設計

(1) 調査地域

練馬区内全域

(2) 調査対象

練馬区在住の満 20 歳以上の区民

(3) 調査対象数

1,500 サンプル

(4) 調査対象者抽出方法

①抽出台帳

練馬区住民基本台帳

②抽出方法

層化二段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出）

③層化

旧出張所管理区域に基づき、17 地区に区分（6 ページ 参照）

④地点数配分

1 地点が 10 サンプルとなるように、各地区の調査対象者数に応じて地点を比例配分（合計 150 地点）

⑤地点抽出

各地点毎に地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点のスタートを設定

⑥対象者抽出（第 2 次抽出）

抽出された各地点のスタート点より、1 地点 10 サンプルずつの標本を無作為系統抽出

(5) 調査方法

留置法（郵送配付、訪問回収）

(6) 調査期間

平成 21 年 8 月 21 日（金）～9 月 17 日（木）

(7) 調査機関

株式会社地域計画建築研究所

#### 4 回収状況

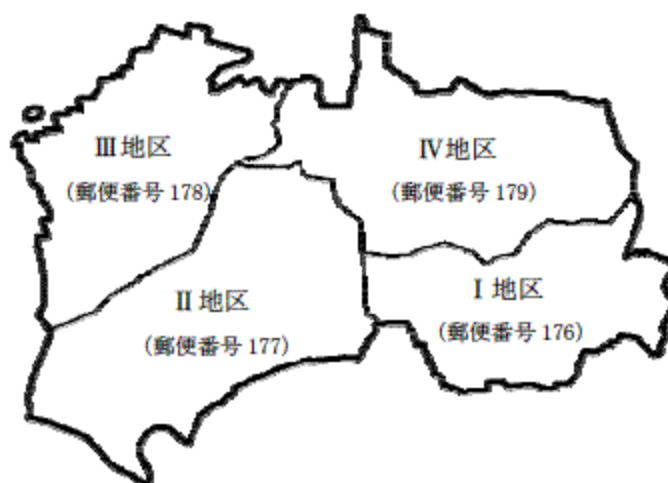
成人人口	標本数	回収数	有効回収数	有効回収率	無効数	回収不能数
573,997※	1,500	787	784	52.3%	3	713

※成人人口は、平成 21 年 8 月 1 日現在

##### <回収不能の内訳>

転居	37	( 2.5%)	短期不在	371	(24.7%)
住所不明	98	( 6.5%)	拒否	125	( 8.3%)
長期不在	19	( 1.3%)	病気療養・他	63	( 4.2%)
計	713 件 (47.5%)				

## 5 地区区分



地区区分一覧

大区分	小区分	町丁名
I 地区  〒176	1	練馬 1~4 丁目、豊玉上 2 丁目、豊玉北 3~6 丁目、豊玉中 1~4 丁目、豊玉南 1~3 丁目
	2	栄町、桜台 1~6 丁目、羽沢 1~3 丁目、豊玉上 1 丁目、旭丘 1・2 丁目、小竹町 1・2 丁目、豊玉北 1・2 丁目
	3	中村 1~3 丁目、中村南 1~3 丁目、中村北 1~4 丁目、向山 1~4 丁目、貫井 1~5 丁目
II 地区  〒177	1	南田中 1 丁目の一部、下石神井 1・2 丁目・3 丁目の一部・4~6 丁目、石神井町 1 丁目の一部・2~8 丁目、石神井台 1~6 丁目・8 丁目の一部、上石神井 1 丁目の一部・2 丁目の一部・3 丁目の一部、三原台 1~3 丁目
	2	富士見台 1~4 丁目、高野台 1~5 丁目、谷原 1~6 丁目、南田中 1 丁目の一部・2~5 丁目、石神井町 1 丁目の一部、下石神井 3 丁目の一部
	3	石神井台 7 丁目・8 丁目の一部、関町北 1~5 丁目、関町南 2 丁目の一部・3 丁目の一部・4 丁目、立野町、関町東 1 丁目の一部・2 丁目
	4	上石神井 1 丁目の一部・2 丁目の一部・3 丁目の一部・4 丁目、上石神井南町、関町南 1 丁目・2 丁目の一部・3 丁目の一部、関町東 1 丁目の一部
III 地区  〒178	1	東大泉 1~7 丁目、大泉町 2 丁目の一部、土支田 3 丁目の一部
	2	西大泉町、西大泉 1~6 丁目、南大泉 1~6 丁目
	3	大泉学園町 1~9 丁目、大泉町 1 丁目・2 丁目の一部・3~6 丁目
IV 地区  〒179	1	早宮 1~4 丁目、氷川台 1~4 丁目、北町 6 丁目、平和台 1~4 丁目、錦 1・2 丁目
	2	春日町 1~6 丁目、高松 1~4 丁目、田柄 3 丁目の一部・5 丁目の一部
	3	高松 5・6 丁目、旭町 1 丁目の一部、土支田 1・2 丁目・3 丁目の一部・4 丁目
	4	旭町 1 丁目の一部・2・3 丁目、光が丘 4 丁目
	5	北町 5・7・8 丁目、光が丘 1 丁目、田柄 1・2 丁目・3 丁目の一部・4 丁目・5 丁目の一部
	6	北町 1~4 丁目
	7	光が丘 2・3・5~7 丁目

## 6 地区区分別回収状況

	成人人口	標本数	有効回収数	有効回収率
区全体	573,997	1,500	784	52.3%
I地区(〒176)	137,074	347	99	28.5%
II地区(〒177)	164,808	435	200	46.0%
III地区(〒178)	111,397	294	115	39.1%
IV地区(〒179)	160,718	424	231	54.5%
地区不明※	—	—	139	—

※居住地区は不明だが、回答があったため有効票として集計

## 7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。  
このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシートとして、次の10項目をとりあげた。
 

①地区別	④性・年代別	⑦家族構成別	⑩住居所有形態別
②性別	⑤職業別	⑧家族人数別	
③年代別	⑥ライフステージ別	⑨住居形態別	
- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。  
1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。
- (9) 図表中の肯定的評価とは「よい」と「概ねよい」の合計、否定的評価とは「やや問題がある」と「問題がある」の合計である。

## 8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満20歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の〈算出式〉と〈早見表〉を示した。

〈標本誤差算出式〉（信頼度：95%）

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差      N = 母集団（練馬区全体）  
n = 回答者数      P = 回答の比率（ $0 \leq P \leq 1$ ）

〈標準誤差早見表〉（信頼度：95%）

回答比率(P) 回答者数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
784	± 3.03	± 4.04	± 4.63	± 4.95	± 5.05
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

(注) Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$  として計算した。

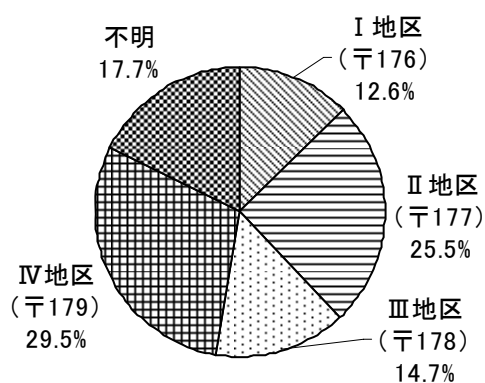
例えば、問1の「練馬区のみぎす10年後の姿」についての質問に対して、「1. よい」と答えた人は、784人のうち38.6%であった。回答者数が784人、回答率が40%前後のときの標本誤差は、〈標準誤差早見表〉では±4.95%であるから、「1. よい」と考えている人は、練馬区在住の満20歳以上の男女全体（母集団）の33.6%から43.6%の間にあると推定できる。ただし、信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。



## 9 回答者の属性

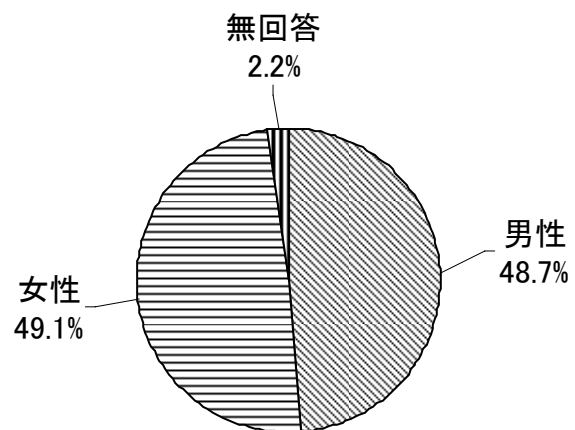
<地区別>

	回答数	構成比
I地区(〒176)	99	12.6%
II地区(〒177)	200	25.5%
III地区(〒178)	115	14.7%
IV地区(〒179)	231	29.5%
不明	139	17.7%
全体	784	100.0%



<性別>

	全体	男性	女性	無回答
全体	784	382	385	17
	100.0	48.7	49.1	2.2
I地区(〒176)	99	37	58	4
	100.0	37.4	58.6	4.0
II地区(〒177)	200	97	102	1
	100.0	48.5	51.0	0.5
III地区(〒178)	115	52	62	1
	100.0	45.2	53.9	0.9
IV地区(〒179)	231	111	113	7
	100.0	48.1	48.9	3.0
不明	139	85	50	4
	100.0	61.2	36.0	2.9

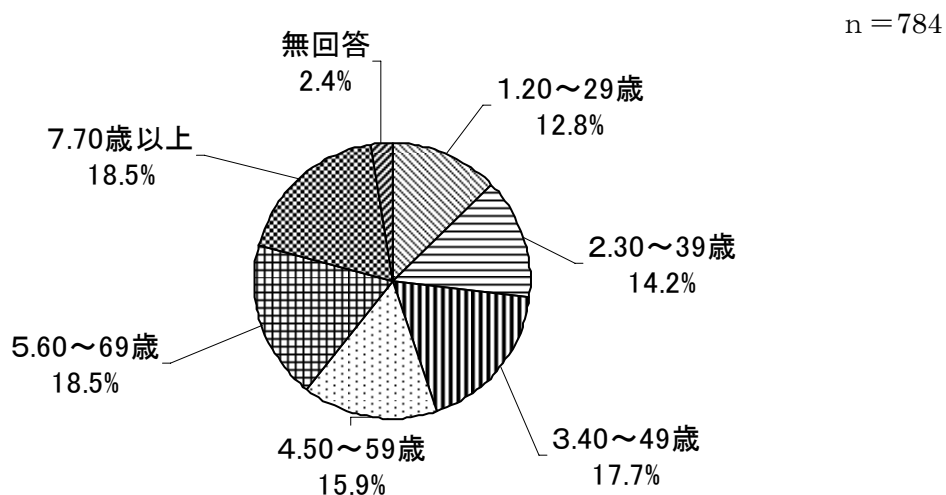


上段：回答数  
下段：構成比 (%)

<年齢>

単位：人、%

	全体	男性						女性						無回答
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	
全体	784	6.5	7.1	9.7	8.0	9.3	7.8	6.3	7.0	8.0	7.9	9.2	10.7	2.4
I地区(〒176)	99	6.1	11.1	11.1	4.0	2.0	3.0	9.1	13.1	8.1	11.1	8.1	9.1	4.0
II地区(〒177)	200	2.5	4.5	12.0	6.0	12.5	11.0	6.0	4.0	8.5	8.0	10.0	14.5	0.5
III地区(〒178)	115	4.3	7.8	10.4	6.1	6.1	9.6	2.6	6.1	8.7	6.1	14.8	15.7	1.7
IV地区(〒179)	231	7.8	4.3	6.5	9.1	10.8	9.1	5.2	6.1	9.1	10.0	7.8	10.8	3.5
不明	139	12.2	12.2	10.1	13.7	10.1	2.9	9.4	9.4	5.0	3.6	6.5	2.2	2.9



(参考) 性・年齢別の母集団との比較表

単位：%

		計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男	母集団	51.9	9.5	9.5	10.8	7.3	7.5	7.3
	調査結果	48.7	6.5	7.1	9.7	8.0	9.3	7.8
女	母集団	48.1	6.9	9.1	8.3	6.7	7.1	9.9
	調査結果	49.1	6.3	7.0	8.0	7.9	9.2	10.7

注：性別・年齢の無回答は除く

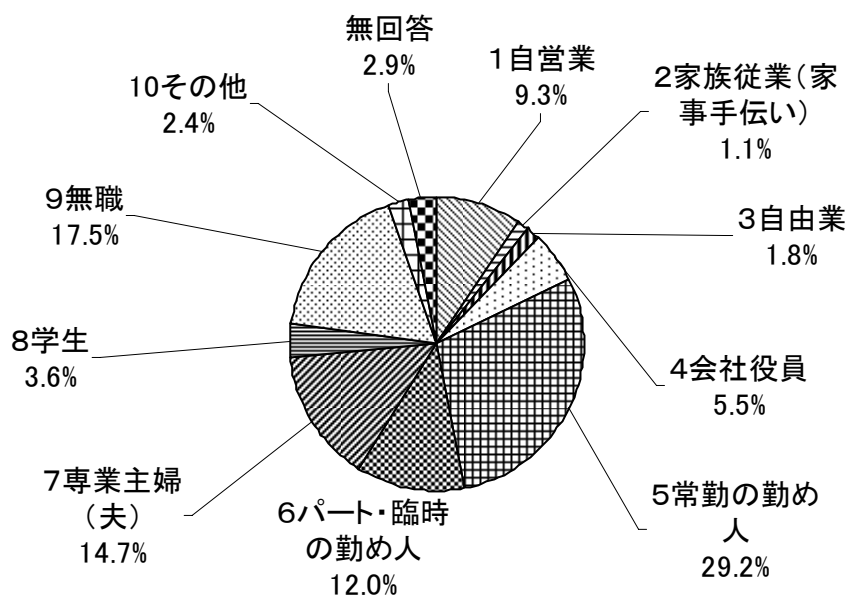
<職業>

	全体	自営業計	勤め人計			無職計	無職計				無回答				
			1自営業	2家族従業(家事手伝い)	3自由業		4会社役員	5常勤の勤め人	6パート・臨時の勤め人	7専業主婦(夫)		8学生	9無職	10その他	
全体	784	96	73	9	14	366	43	229	94	299	115	28	137	19	23
	100.0	12.2	9.3	1.1	1.8	46.7	5.5	29.2	12.0	38.1	14.7	3.6	17.5	2.4	2.9
I地区 (〒176)	99	11	8	0	3	47	8	28	11	36	14	5	12	5	5
	100.0	11.1	8.1	0.0	3.0	47.5	8.1	28.3	11.1	36.4	14.1	5.1	12.1	5.1	5.1
II地区 (〒177)	200	20	16	2	2	90	14	49	27	88	40	4	41	3	2
	100.0	10.0	8.0	1.0	1.0	45.0	7.0	24.5	13.5	44.0	20.0	2.0	20.5	1.5	1.0
III地区 (〒178)	115	13	9	2	2	48	7	30	11	52	19	1	28	4	2
	100.0	11.3	7.8	1.7	1.7	41.7	6.1	26.1	9.6	45.2	16.5	0.9	24.3	3.5	1.7
IV地区 (〒179)	231	34	26	4	4	106	11	64	31	82	28	8	39	7	9
	100.0	14.7	11.3	1.7	1.7	45.9	4.8	27.7	13.4	35.5	12.1	3.5	16.9	3.0	3.9
不明	139	18	14	1	3	75	3	58	14	41	14	10	17	0	5
	100.0	12.9	10.1	0.7	2.2	54.0	2.2	41.7	10.1	29.5	10.1	7.2	12.2	0.0	3.6

注：自営業計は、自営業、家族従業（家事手伝い）、自由業を合わせたもの  
 勤め人計は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの  
 無職計は、専業主婦（夫）、学生、無職、その他を合わせたもの

上段：回答数  
 下段：構成比(%)

n = 784



<ライフステージ>

	全体	1独身期	2家族形成期	3家族成長前期	4家族成長後期	5家族成熟期	6高齢期	7その他	無回答
全体	784	110	78	70	59	126	210	84	47
	100.0	14.0	9.9	8.9	7.5	16.1	26.8	10.7	6.0
I地区 (〒176)	99	26	8	9	5	15	18	11	7
	100.0	26.3	8.1	9.1	5.1	15.2	18.2	11.1	7.1
II地区 (〒177)	200	13	19	21	16	31	74	22	4
	100.0	6.5	9.5	10.5	8.0	15.5	37.0	11.0	2.0
III地区 (〒178)	115	9	8	8	12	18	35	13	12
	100.0	7.8	7.0	7.0	10.4	15.7	30.4	11.3	10.4
IV地区 (〒179)	231	34	16	19	19	44	63	19	17
	100.0	14.7	6.9	8.2	8.2	19.0	27.3	8.2	7.4
不明	139	28	27	13	7	18	20	19	7
	100.0	20.1	19.4	9.4	5.0	12.9	14.4	13.7	5.0

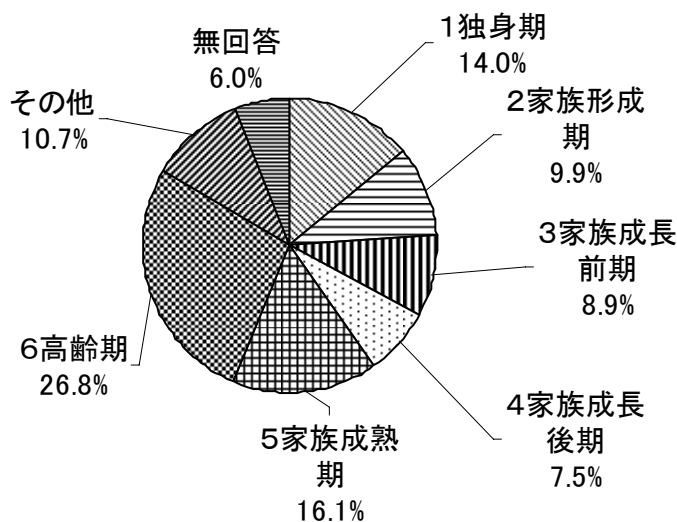
注：ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

上段：回答数

下段：構成比(%)

- 1 独身期・・・40歳未満の独身者
- 2 家族形成期・・・40歳未満の子どもがいない夫婦  
または一番上の子どもが小学校入学前の人
- 3 家族成長前期・・・一番上の子どもが小・中学生の人
- 4 家族成長後期・・・一番上の子どもが高校・大学生の人
- 5 家族成熟期・・・64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 6 高齢期・・・65歳以上の人
- 7 その他・・・40～64歳の独身者、40～64歳の子どもがいない夫婦など

n = 784

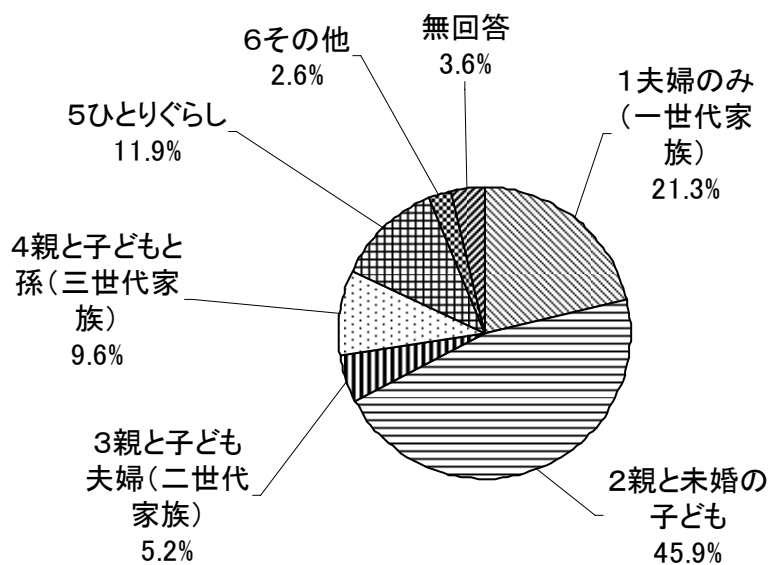


<家族構成>

	全体	1夫婦のみ(一世代家族)	2親と未婚の子ども	3親と子ども夫婦(二世世代家族)	4親と子どもと孫(三世世代家族)	5ひとりぐらし	6その他	無回答
全体	784 100.0	167 21.3	360 45.9	41 5.2	75 9.6	93 11.9	20 2.6	28 3.6
I地区 (〒176)	99 100.0	17 17.2	33 33.3	5 5.1	11 11.1	22 22.2	5 5.1	6 6.1
II地区 (〒177)	200 100.0	45 22.5	100 50.0	15 7.5	17 8.5	19 9.5	3 1.5	1 0.5
III地区 (〒178)	115 100.0	27 23.5	55 47.8	6 5.2	13 11.3	6 5.2	4 3.5	4 3.5
IV地区 (〒179)	231 100.0	52 22.5	107 46.3	8 3.5	27 11.7	21 9.1	6 2.6	10 4.3
不明	139 100.0	26 18.7	65 46.8	7 5.0	7 5.0	25 18.0	2 1.4	7 5.0

上段：回答数  
下段：構成比(%)

n = 784

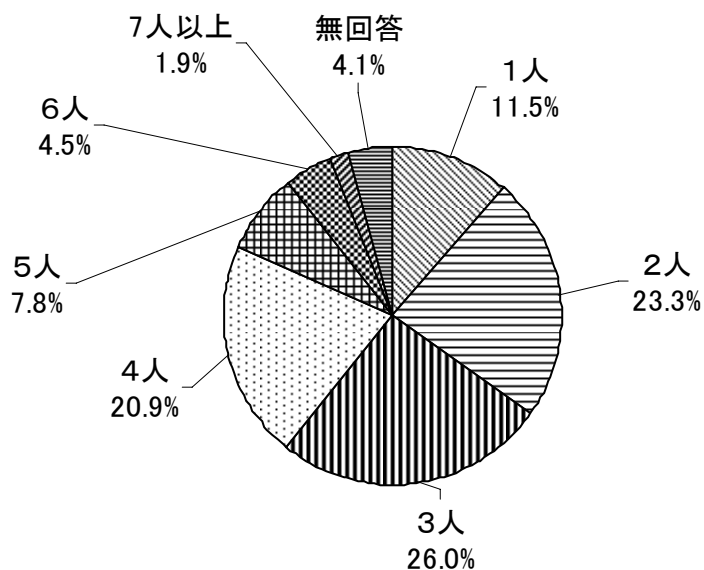


<家族人数>

	全体	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	784	90	183	204	164	61	35	15	32
	100.0	11.5	23.3	26.0	20.9	7.8	4.5	1.9	4.1
I地区 (〒176)	99	21	23	24	14	5	4	2	6
	100.0	21.2	23.2	24.2	14.1	5.1	4.0	2.0	6.1
II地区 (〒177)	200	17	53	57	43	16	11	0	3
	100.0	8.5	26.5	28.5	21.5	8.0	5.5	0.0	1.5
III地区 (〒178)	115	7	25	34	26	12	4	1	6
	100.0	6.1	21.7	29.6	22.6	10.4	3.5	0.9	5.2
IV地区 (〒179)	231	19	54	54	51	23	12	8	10
	100.0	8.2	23.4	23.4	22.1	10.0	5.2	3.5	4.3
不明	139	26	28	35	30	5	4	4	7
	100.0	18.7	20.1	25.2	21.6	3.6	2.9	2.9	5.0

上段：回答数  
下段：構成比(%)

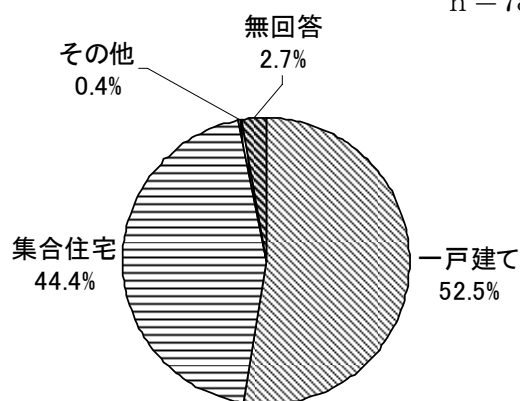
n = 784



<住居形態>

n = 784

	全体	一戸建て	集合住宅	その他	無回答
全体	784	412	348	3	21
	100.0	52.5	44.4	0.4	2.7
I地区 (〒176)	99	39	57	0	3
	100.0	39.4	57.6	0.0	3.0
II地区 (〒177)	200	115	81	1	3
	100.0	57.5	40.5	0.5	1.5
III地区 (〒178)	115	88	22	1	4
	100.0	76.5	19.1	0.9	3.5
IV地区 (〒179)	231	111	111	1	8
	100.0	48.1	48.1	0.4	3.5
不明	139	59	77	0	3
	100.0	42.4	55.4	0.0	2.2



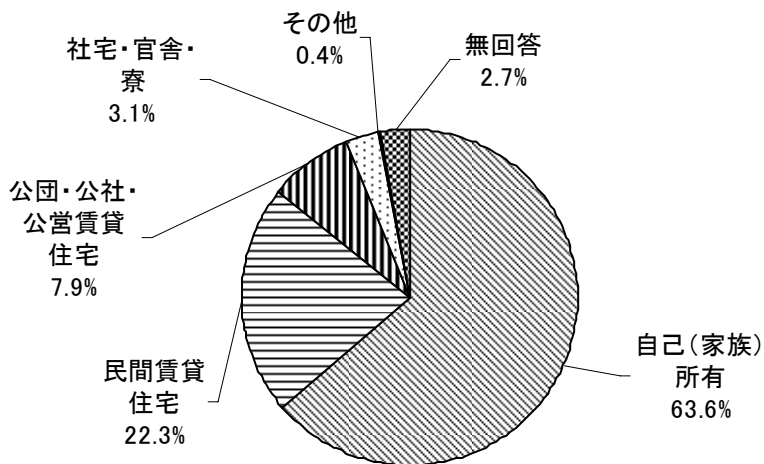
上段：回答数  
下段：構成比(%)

<住居所有形態>

	全体	自己(家族)所有	民間賃貸住宅	公団・公社・公営賃貸住宅	社宅・官舎・寮	その他	無回答
全体	784	499	175	62	24	3	21
	100.0	63.6	22.3	7.9	3.1	0.4	2.7
I地区 (〒176)	99	54	33	4	5	0	3
	100.0	54.5	33.3	4.0	5.1	0.0	3.0
II地区 (〒177)	200	137	39	17	3	1	3
	100.0	68.5	19.5	8.5	1.5	0.5	1.5
III地区 (〒178)	115	92	15	1	2	1	4
	100.0	80.0	13.0	0.9	1.7	0.9	3.5
IV地区 (〒179)	231	141	42	32	7	1	8
	100.0	61.0	18.2	13.9	3.0	0.4	3.5
不明	139	75	46	8	7	0	3
	100.0	54.0	33.1	5.8	5.0	0.0	2.2

上段：回答数  
下段：構成比(%)

n = 784



## 10 アンケート調査票

### 新基本構想素案等に関する区民意識意向調査へのご協力をお願い

基本構想は、総合的・計画的な行政運営を図るために、区政の目標とする将来像などを定めるものです。

練馬区は、昭和 52 年に現在の基本構想を策定しましたが、区政を取り巻く状況が大きく変化したため、新基本構想を策定することとしました。

新基本構想では、平成 30 年代初頭を目標年次とした「区のめざすべき将来像」と、将来像を実現するための施策の方向性を明らかにしていきたいと考えています。

これまで 2 年間にわたり、幅広い区民の皆さまのご意見を伺いながら検討を進め、同封の冊子のとおり新基本構想素案を取りまとめました。また、新基本構想を実現する施策・事業を体系的に示す長期計画（平成 22 年度～平成 26 年度）についても、あわせて素案を作成しました。

※同封の 8 月 1 日付ねりま区報臨時特集号で、新基本構想素案と長期計画素案のあらましを紹介しています。

今回の区民意識意向調査は、新基本構想素案を中心に、区の将来像等への区民の皆さまのご意見を伺うために実施するものです。

このたび、調査の対象者につきまして、住民基本台帳から無作為に 1,500 人を選ばせていただいたところ、あなた様をその 1 人としてお願いすることになりました。つきましては、調査票を送付させていただきましたので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、なにとぞご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

この調査は、練馬区が調査専門機関である株式会社 地域計画建築研究所 に委託し、実施いたします。8 月下旬（8 月 20 日（木）～9 月 10 日（木）ごろの間）に調査員がご自宅にお伺い調査票を回収する予定です。調査員は、「身分証明書」を携帯し、訪問の際に提示いたします。万一、調査票にご記入漏れがありましたときには、その場にておたずねすることもございます。ご不在の折には改めて訪問させていただきます。

なお、この調査結果は統計的に処理いたしますので、調査にご協力くださいました個人の氏名や回答が公表されることは一切ございません。ご自身のお気持ち・ご意見に一番あてはまる回答をご記入ください。

平成 21 年 8 月

練馬区企画部基本構想担当課

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北 6-12-1

電話：03-5984-1064（直通）

#### 〔ご記入に際してのお願い〕

- (1) ご記入は必ずご本人にお願いします。
- (2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
- (3) 回答に迷う場合は、ご自身のお気持ち、お考えにできるだけ近いものを選ぶようにお願いします。

※調査・回収についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

株式会社 地域計画建築研究所 東京事務所

〒160-0001 東京都新宿区片町 1-20 萩原ビル 3F

電話：03-3226-9130（直通）＜月～金曜日 午前 10 時～午後 5 時 30 分＞



[新基本構想素案について、おたずねします。]

問1 素案では、「第1章 練馬区のめざす10年後の姿」において、概ね10年後の平成30年代初頭を目標年次としてめざしていく、練馬区のあるべき姿を下記のとおりとしています。

練馬区のめざす10年後の姿

人とみどりが輝く 創造都市  
ふるさと都市 をともに築き、未来へつないでいきます

この「練馬区のめざす10年後の姿」をあなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 38.6% 3 やや問題がある 6.8 5 分からない 16.1  
2 概ねよい 33.5 4 問題がある 2.4 6 その他 ( ) 2.2 (無回答)0.4

問2 素案では、「第2章 区政経営の基本姿勢」において、下記の3項目を柱として区政経営を行うこととしています。

区政経営の基本姿勢

- 1 区民主体、地域コミュニティ重視のまちづくり
- 2 区民と区との協働のまちづくり
- 3 持続可能な区政経営の実現

この「区政経営の基本姿勢」について、それぞれあなたはどのように思いますか。(○は1つ)

2-1 「区民主体、地域コミュニティ重視のまちづくり」について

- 1 よい 45.4% 3 やや問題がある 6.8 5 分からない 13.3  
2 概ねよい 30.1 4 問題がある 2.2 6 その他 ( ) 0.9 (無回答)1.4

2-2 「区民と区との協働のまちづくり」について

- 1 よい 41.8% 3 やや問題がある 7.5 5 分からない 12.8  
2 概ねよい 32.1 4 問題がある 2.0 6 その他 ( ) 1.5 (無回答)2.2

2-3 「持続可能な区政経営の実現」について

- 1 よい 43.1% 3 やや問題がある 6.5 5 分からない 17.7  
2 概ねよい 27.6 4 問題がある 1.8 6 その他 ( ) 1.5 (無回答)1.8

問3 素案では、「第3章 未来の練馬を区民とともにはぐくむ一ねりま未来プロジェクト」において、練馬区のめざす姿の実現に向けて、区民の参画・協働を得ながら、政策分野を越えて横断的に取り組む重要施策として、下記の3つの「未来の練馬を区民とともにはぐくむ」視点を設定しています。

未来の練馬を区民とともにはぐくむ

- 1 「豊かなみどりを守り、増やし、活かす」視点
- 2 「まちの魅力を引き出し、活力を高める」視点
- 3 「未来を拓く人の学びや活動を支援する」視点

この「未来の練馬を区民とともにはぐくむ」視点について、それぞれあなたはどのように思いますか。(○は1つ)

3-1 「豊かなみどりを守り、増やし、活かす」視点について

- 1 よい 66.5% 3 やや問題がある 4.1 5 分からない 5.1  
2 概ねよい 21.7 4 問題がある 1.0 6 その他 ( ) 0.9 (無回答)0.8

3-2 「まちの魅力を引き出し、活力を高める」視点について

- 1 よい 45.7% 3 やや問題がある 8.9 5 分からない 10.7  
2 概ねよい 28.8 4 問題がある 1.9 6 その他 ( ) 1.3(無回答)2.7

3-3 「未来を拓く人の学びや活動を支援する」視点について

- 1 よい 50.9% 3 やや問題がある 5.9 5 分からない 10.8  
2 概ねよい 27.0 4 問題がある 1.1 6 その他 ( ) 0.9(無回答)3.3

問4 素案では、「第4章 分野別の基本政策」において、区の政策体系を「子ども分野」「健康と福祉分野」「区民生活と産業分野」「環境とまちづくり分野」の四つの分野に分けて、分野ごとに取り組む基本政策を示しています。

4-1 子ども分野では、下記のとおり取り組むこととしています。

- 1 次代を担う子どもの健やかな成長を支える<子ども分野>  
1-1 子どもと子育て家庭を地域で支える  
1-2 子どもが楽しく学ぶことができ、地域に開かれた学校教育を進める

子ども分野の内容について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 54.2% 3 やや問題がある 5.5 5 分からない 9.4  
2 概ねよい 25.8 4 問題がある 2.2 6 その他 ( ) 1.9(無回答)1.0

4-2 健康と福祉分野では、下記のとおり取り組むこととしています。

- 2 高齢者や障害者などだれもが安心して暮らせる社会を実現する<健康と福祉分野>  
2-1 健やかな暮らしを支える保健・医療の環境を整える  
2-2 高齢者や障害者などだれもが自分らしく生活できるよう支援する

健康と福祉分野の内容について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 57.9% 3 やや問題がある 6.8 5 分からない 5.2  
2 概ねよい 25.3 4 問題がある 2.8 6 その他 ( ) 1.1(無回答)0.9

4-3 区民生活と産業分野では、下記のとおり取り組むこととしています。

- 3 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る<区民生活と産業分野>  
3-1 多様な地域活動を活性化し、やすらぎのある地域社会をつくる  
3-2 経済活動を活発にし、にぎわいを創出する  
3-3 安全で安心な区民生活を支える態勢を整える

区民生活と産業分野の内容について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 43.2% 3 やや問題がある 7.5 5 分からない 12.5  
2 概ねよい 32.3 4 問題がある 1.7 6 その他 ( ) 1.7(無回答)1.1

4-4 環境とまちづくり分野では、下記のとおり取り組むこととしています。

- 4 環境と共生する快適なまちを形成する<環境とまちづくり分野>  
4-1 区民・事業者と区が連携して環境への負荷を低減する  
4-2 区民・事業者・区が一体となって、災害に強く快適に生活できるまちづくりを進める

環境とまちづくり分野の内容について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 49.7% 3 やや問題がある 5.5 5 分からない 8.2  
2 概ねよい 32.4 4 問題がある 1.7 6 その他 ( ) 1.5(無回答)1.0

問5 素案では、「第5章 基本構想を実現するために」において、第3章・第4章に掲げる政策を実現していくために、4つの方策を示しています。

- 1 長期計画の策定と進捗状況の区民への公表  
 ○基本構想を実現する施策・事業を体系的に示すものとして長期計画を策定し、具体的施策・事業について目標を明示します。  
 ○行政評価制度を活かして、長期計画の目標実現に向けた区政経営を行うとともに区民に進捗状況を公表します。

5-1 「長期計画の策定と進捗状況の区民への公表」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 46.0% 3 やや問題がある 5.4 5 分からない 16.7  
 2 概ねよい 28.2 4 問題がある 1.7 6 その他( ) 0.8(無回答)1.3

- 2 区民参加・参画と協働を進める仕組みづくり  
 ○練馬区としての自治の仕組みを定める(仮称)自治基本条例の制定をめざし、区民の参加・参画を進める仕組みを整えます。  
 ○区政に関する情報を区民に分かりやすく提供するなど、区政の透明性を向上させます。また、自治についての学習の場を継続的に設けます。  
 ○基本構想で示す区政運営の基本的指針を、区民と区が共有できるよう仕組みとして整え、具体的な協働の取組につなげていきます。

5-2 「区民参加・参画と協働を進める仕組みづくり」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 39.4% 3 やや問題がある 6.9 5 分からない 16.5  
 2 概ねよい 33.9 4 問題がある 1.4 6 その他( ) 0.5(無回答)1.4

- 3 地域コミュニティの活性化  
 ○地域コミュニティを活性化する方策を、区民参加により検討する場を設け、実施していきます。

5-3 「地域コミュニティの活性化」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 40.1% 3 やや問題がある 10.6 5 分からない 14.0  
 2 概ねよい 31.1 4 問題がある 1.9 6 その他( ) 0.9(無回答)1.4

- 4 基本構想を実現するための実施体制の整備  
 ○自律的な区政経営を行うとともに、財政基盤を強固にしていきます。  
 ○行政改革を不断に進めます。  
 ○多様な担い手により、公共サービスが効果的・効率的に提供されるよう、適切な区政経営を行います。  
 ○組織の連携を強化するとともに、施策を効果的に展開できる組織体制を構築します。  
 ○現場感覚を活かして創意工夫を重ね、政策を立案していくことができる職員を育成します。

5-4 「基本構想を実現するための実施体制の整備」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 よい 40.2% 3 やや問題がある 7.3 5 分からない 16.5  
 2 概ねよい 31.4 4 問題がある 2.4 6 その他( ) 1.0(無回答)1.3

[長期計画素案について、おたずねします。]

問6 長期計画素案では、新基本構想の「第3章 未来の練馬を区民とともにはぐくむーねりま未来プロジェクト」に基づく「みどり」「農」「アニメ」「人づくり」の4つのプロジェクトに加えて、「第5章 基本構想を実現するために」に基づく「地域コミュニティ活性化プロジェクト」も計画化し、5つの「ねりま未来プロジェクト」を設定しています。

- |   |
|---|
| 1 みどりプロジェクト「みどりを基軸とした環境都市を実現する」<br>(1) みどりを愛し守る心をはぐくむ<br>(2) みどりや自然にかかわる情報を共有する<br>(3) 区民の力でみどりを守り育てる仕組みをつくる<br>(4) みどりを多角的に活かす |
|---|

6-1 「みどりプロジェクト」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- |   |      |       |   |         |     |   |        |             |
|---|------|-------|---|---------|-----|---|--------|-------------|
| 1 | よい   | 59.8% | 3 | やや問題がある | 4.5 | 5 | 分からない  | 5.9         |
| 2 | 概ねよい | 26.3  | 4 | 問題がある   | 1.4 | 6 | その他( ) | 0.9(無回答)1.3 |

- |  |
|--|
| 2 農プロジェクト「農の豊かさを実感できる都市をつくる」<br>(1) 魅力的な都市型農業を振興する<br>(2) 都市農地保全に向けた制度の見直しを働きかける<br>(3) 農のあるまちづくりを推進する<br>(4) 食と直結する農に対しての理解を深める |
|--|

6-2 「農プロジェクト」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- |   |      |       |   |         |     |   |        |             |
|---|------|-------|---|---------|-----|---|--------|-------------|
| 1 | よい   | 51.3% | 3 | やや問題がある | 7.5 | 5 | 分からない  | 9.8         |
| 2 | 概ねよい | 27.0  | 4 | 問題がある   | 1.7 | 6 | その他( ) | 1.8(無回答)0.9 |

- |   |
|---|
| 3 アニメプロジェクト「アニメを核として区内産業を活性化し練馬の魅力を拡大する」<br>(1) 国際競争力をもつ産業へ育成する<br>(2) 作品製作や人材育成を支援する<br>(3) アニメ文化を通して練馬の魅力を高める |
|---|

6-3 「アニメプロジェクト」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- |   |      |       |   |         |      |   |        |             |
|---|------|-------|---|---------|------|---|--------|-------------|
| 1 | よい   | 26.5% | 3 | やや問題がある | 14.8 | 5 | 分からない  | 26.4        |
| 2 | 概ねよい | 20.2  | 4 | 問題がある   | 8.7  | 6 | その他( ) | 2.2(無回答)1.3 |

- |   |
|---|
| 4 人づくりプロジェクト「未来の練馬を担う人をはぐくむ」<br>(1) 学校、家庭、地域の連携による子どもの健全育成を支援する<br>(2) 青少年の自立を支援する<br>(3) 福祉サービスや地域産業を担う人材を育成する<br>(4) 地域を担う人材の育成や活動の支援を進める |
|---|

6-4 「人づくりプロジェクト」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- |   |      |       |   |         |     |   |        |             |
|---|------|-------|---|---------|-----|---|--------|-------------|
| 1 | よい   | 52.6% | 3 | やや問題がある | 6.6 | 5 | 分からない  | 8.4         |
| 2 | 概ねよい | 29.1  | 4 | 問題がある   | 1.1 | 6 | その他( ) | 1.1(無回答)1.0 |

- 5 地域コミュニティ活性化プロジェクト「人と人とのつながりと支えあいのある地域コミュニティづくりを支援する」
- (1) 地域活動団体を支援する
  - (2) 地域活動への入り口をつくり、人と人とのつながりづくりを進める
  - (3) 地域活動団体のネットワークを形成する
  - (4) 相談役、調整役となる人材を確保する
  - (5) 地域活動推進拠点を整備する

6-5 「地域コミュニティ活性化プロジェクト」について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1	よい	37.4%	3	やや問題がある	7.7	5	分からない	15.8
2	概ねよい	34.7	4	問題がある	2.0	6	その他( )	1.1(無回答)1.3

[地域コミュニティ活動について、おたずねします。]

問7 あなたはお住まいの地域で、この1年間に次のような地域活動に参加しましたか。  
参加した活動をいくつでもお答えください。

<地域活動の組織の形態>

1	町会・自治会やマンションの管理組合の活動	18.0%
2	ボランティア活動やNPOによる市民活動	5.1
3	サークルなど任意の団体の活動	10.7

<地域活動の内容>

4	地域の人々が知り合い、交流を広げる季節行事などの活動	10.3
5	子育ての支援や青少年健全育成、PTAなどの活動	8.2
6	高齢者や障害がある人などに対する福祉活動	4.3
7	生涯学習やスポーツなどに地域で取り組む活動	5.9
8	防災・防火・防犯など地域の安全・安心を守る活動	10.1
9	清掃やリサイクル、環境保全、まちの美化、緑化などに関する活動	13.0
10	地域のまちづくりに関する活動	2.2
11	その他 具体的に( )	2.6
12	参加していない。	52.6
	(無回答)	5.6

[住宅について、おたずねします。]

問8 区では、住宅施策について総合的に定める住宅マスタープランを来年度策定する予定  
です。その検討に向けた基礎的資料とするため、お伺いします。

8-1 あなたは現在のお住まいに満足していますか。(○は1つ)

1 満足	30.4%	3 どちらかといえば不満	16.6
2 どちらかといえば満足	40.9	4 不満	7.0
		(無回答)	5.1

8-2 区民のための住宅施策として、区や都・国にあなたが望むこと、今後力を入れて  
ほしいと思うことを選んでください。(○は3つ以内)

1 家賃の安い公的住宅を作ってほしい	24.4%
2 多少家賃が高くとも、質の高い公的住宅を作ってほしい	3.3
3 民間住宅の供給を促進してほしい	4.1
4 民間住宅の供給を抑制してほしい	1.4
5 高齢者・障害者などのための福祉型住宅を充実してほしい	30.6
6 高齢者・障害者などの借家世帯への家賃補助をしてほしい	11.5
7 ひとり親世帯のための福祉型住宅を充実してほしい	10.7
8 子育て中の借家世帯への家賃補助をしてほしい	11.2
9 住まい方(生活ルール)に関する助言・指導をしてほしい	6.5
10 住宅に関する相談(法律・相続・建替・不動産・マンション管理など)を充実し てほしい	8.8
11 建替・修繕や生け垣化、省エネルギー化など住宅の質を向上させるための融資・ 助成制度を充実してほしい	22.6
12 道路・公園などの基盤整備を進めるなど、まちづくり事業を積極的に展開してほし い	24.9
13 木造賃貸住宅などの建替を促進し、密集市街地などの再整備を進めてほしい	4.6
14 農地・緑地を保全するなど周辺の自然環境が壊されないようにしてほしい	31.4
15 地価対策を進めてほしい	4.0
16 不動産にかかる税を軽減してほしい	29.2
17 その他 具体的に( )	4.7
18 特にない	4.3
(無回答)	3.4

## 【フェイスシート】

最後に、回答を統計分析する際に必要なことをいくつかおたずねします。  
あなたご自身のことについて、さしさわりのない範囲でお答えください。

### F 1 あなたの性別をお答えください。

1 男 48.7% 2 女 49.1 (無回答) 2.2

### F 2 あなたの年齢はおいくつですか。

1 20～29 歳 12.8% 3 40～49 歳 17.7 5 60～64 歳 8.5 7 70 歳以上 18.5  
2 30～39 歳 14.2 4 50～59 歳 15.9 6 65～69 歳 9.9 (無回答) 2.4

### F 3 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 自営業 9.3% 6 パート・臨時の勤め人 12.0  
2 家族従業(家事手伝い) 1.1 7 専業主婦(夫) 14.7  
3 自由業 1.8 8 学生 3.6  
4 会社役員 5.5 9 無職 17.5  
5 常勤の勤め人 29.2 10 その他(具体的に ) 2.4  
(無回答) 2.9

### F 4 現在、あなたご自身は、次の1～11のどれにあたりますか。同居・別居を問わず、現在の状況をお答えください。(○は1つ)

◎単身者である (子どもがいる場合を除く)	1	ご自身が20～39 歳	14.0%
	2	ご自身が40～64 歳	5.9
	3	ご自身が65 歳以上	4.1
◎配偶者がいて 子どもがいない	4	ご自身が20～39 歳	2.9
	5	ご自身が40～64 歳	4.8
	6	ご自身が65 歳以上	7.1
◎子どもがいる	7	一番上の子どもが小学校入学前	7.0
	8	一番上の子どもが小・中学生	8.9
	9	一番上の子どもが高校生・大学生	7.5
	10	ご自身が64 歳以下で一番上の子どもが学校卒業	16.1
	11	ご自身が65 歳以上で一番上の子どもが学校卒業	15.8
		(無回答)	6.0

### F 5 現在のあなたのお宅の家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 夫婦のみ(一世代家族) 21.3% 4 親と子どもと孫(三世代家族) 9.6  
2 親と未婚の子ども 45.9 5 ひとりぐらし 11.9  
3 親と子ども夫婦(二世代家族) 5.2 6 その他(具体的に ) 2.6  
(無回答) 3.6

### F 6 現在、あなたを含めて何人の家族で一緒に住んでいますか。

(家族以外の同居している人を含む) (○は1つ)

1 1人 11.5% 3 3人 26.0 5 5人 7.8 7 7人以上 1.9  
2 2人 23.3 4 4人 20.9 6 6人 4.5 (無回答) 4.1

F 7 あなたが現在お住まいの住宅は、次のどれにあたりますか（○は1つ）

<持家にお住まいの方>

1 一戸建て（自己（家族）所有地）	49.5%	3 共同住宅（敷地共有で建物分譲）	12.5
2 一戸建て（借地）	0.8	4 共同住宅（借地上の建物分譲）	0.9

<借家にお住まいの方>

5 一戸建て	2.3	9 区営住宅	0.4
6 民間共同住宅（木造）	6.3	10 公団住宅	1.4
7 民間共同住宅（非木造）	13.8	11 公社住宅	0.6
8 都営住宅	4.3	12 都民住宅	1.1

<社宅・官舎・寮にお住まいの方>

13 社宅	1.8	15 寮	0.6
14 官舎	0.6		

<その他>

16 その他（具体的に）	0.4
（無回答）	2.7

ご協力ありがとうございました。